

平成28年12月7日

**福島県商工会館寄附金による地域活性化活動助成事業
公開報告会の開催について**

福島大学地域創造支援センターでは、平成25年度より一般社団法人福島県商工会館から寄附をいただき、県内各地域において、地域商工業の活性化のための研究・調査活動を実施しております。昨年度に引き続き第4回目の公開報告会を開催しますので、当日のご取材方よろしくお願いいたします。

なお、研究加速枠については、別紙のとおり活動内容をご紹介しますので、事前の取材もあわせてお願いいたします。

記

1. 日時：平成28年12月21日（水）15：00～17：00
2. 場所：コラッセふくしま 3階研修室（福島市三河南町1-20）
3. 活動報告 ※1件あたり20分の発表。順番は変更となる可能性もあります。

◇研究加速枠

- A. 15：05～15：25 代表者：川崎興太 共生システム理工学類准教授
「復興と帰還に向けた被災地における買い物弱者支援対策—移動販売車の有効活用と導入に向けた施策提案」

◇公募枠

- B. 15：25～15：45 代表者：渡邊晃一 人間発達文化学類教授
「二本松市と福島大学の連携と文化的な支援活動」
- C. 15：45～16：05 代表者：塘忠顕 共生システム理工学類教授
「西郷村堀川ダムにおける特定外来生物ウチダザリガニの駆除活動とウチダザリガニを新たな観光資源として活用するための試み」
- D. 16：05～16：25 代表者：高原円 共生システム理工学類准教授
「温泉を利用した睡眠健康増進プログラムによる地域産業活性化」

報告終了後、ポスターセッション 16：30～17：00

【担当窓口】

福島大学地域連携課（安藤）
TEL：024-548-8358

(別紙)

活動名	活動内容PR	代表者
(研究加速枠) 復興と帰還に向けた被災地における買い物弱者支援対策—移動販売車の有効活用と導入に向けた施策提案	原子力災害からの復興に向けて、除染や公共・生活インフラの整備、避難指示の解除が進められています。しかし、避難指示が解除されても、放射能に対する不安もさることながら、買い物、医療・介護、交通などの生活環境が十分に回復しているわけではなく、必ずしも住民が円滑に帰還しているとは言えない状況にあります。 本研究は、こうした現状認識のもとに、避難指示の解除から2年半が経過した田村市都路地区を事例として、買い物環境や交通環境の実態について調査し、今後の福島の復興に向けた大きな課題になると考えられる買い物弱者支援対策、特に移動販売のあり方について検討するものです。 これまでに、都路の現状分析のほか、帰還者と避難者の双方に対するアンケート調査・ヒアリング調査を実施しており、今後、住民、事業者、行政が参加するワークショップを通じて、実践的な研究を行う予定です。 <u>◆事前に取材していただける場合は、12月13日(火) 13時から、川崎研究室(理工棟 709号室)にて対応いたします。</u>	共生システム 理工学類 川崎興太 准教授